

北海道自然電力、理研興業と太陽光発電つき防雪柵開発へ

[北海道](#)[+フォローする](#)

2024年11月11日 19:42



北海道自然電力と理研興業は太陽光パネル付きの防雪柵を開発する（11日、札幌市）

ソーラーシェアリング（営農型太陽光発電）事業などを手がける北海道自然電力（札幌市）は11日、理研興業（北海道小樽市）と太陽光パネルを備えた防雪柵を開発すると発表した。吹きだまりを防ぐ防雪柵に、垂直に設置して発電する太陽光パネルをつけて、融雪などに使うエネルギーとして使えないか検討する。

2025年夏にも、北海道自然電力と垂直型太陽光発電の実証実験を行っている酪農学園大学（江別市）の敷地内に新しい防雪柵を設置する。発電した電力は大学内で使う。

実際に道路に設置する際は、飛び石などがあっても壊れにくい太陽光パネルが必要となる。今後、素材メーカーなどと強度の高いパネル開発を進める。また会沢高圧コンクリート（苫小牧市）が米マサチューセッツ工科大学（MIT）と研究中の電気を蓄えることができる「蓄電コンクリート」を、防雪柵の基礎部分に使うことも検討するという。